

4. 豊かな心を育む取組 思いやる人

(1) 協働的な学びの充実



① 心のつながりを生む取組

・**体育祭「仲間とつくる感動」** <5/27>
「頑張ることは格好いい」を体現し、仲間を励ます、お互いの健闘を讃え合う活動となりました。

・**文化祭「心一つに歌声響く」** <10/1>
「心一つに揃えることは素敵なこと」を体現し、お互いに表現力や情操を高め合う活動となりました。

② 思いを伝え合う取組

・**意見発表「私の思い 言葉にのせて」**
夏休みに全校生徒で取り組み、学級発表、代表による学年発表、文化祭発表を行いました。疑問や葛藤に対して「自分や周囲はどうしたらよいのか」を考え、自分たちのあり方や生き方を中学生の視点で発表し、思いを言葉で伝え合いました。 <8/23~9/30>

③ 地域のためにできることを考える取組

・**ボランティア活動**
「いつもお世話になっている地域のために何かできないか」という思いのもと、生徒会の呼びかけで、様々なボランティア活動が行われました。

- 「ゴミ拾い登校」 <7/11~13>
- 「西公園の清掃活動」 <9/7>
- 「落ち葉集め」 <11/1>
- 「児童学習サポート」 <12/25~27>
合計でのべ160名以上が参加しました。

・**防災学習「地域を守る要になる」**
地域の一員として、災害時に避難を呼びかけたり、避難所運営を積極的に手伝ったりして、多くの人の支えになれるように、3年間を通して学習しています。

■ **1年「地域探索」** <10/17>
危険箇所や災害時に必要な施設などを探し出すウォークラリー「防災フォトスカベンジャーハント」を実施し、危険を予測し、対応を考える学習を行いました。

■ **2年「避難所設営」** <12/6>
体育館にテントや段ボールベッド、仕切りなどを設置し、素早く組み立てる方法や使う人が利用しやすい工夫などを話し合いました。

■ **3年「避難所運営」** <11/28>
避難所運営シミュレーション「HUG」を使って、様々な避難者やイベントにどう対応するか、話し合いながら、全ての人に過ぎしやすい環境づくりについて考えました。



④ 地域の教育資源を活用した学び

・**修学旅行** <4/24~27, 報告会5/16>
事前学習と旅行、インタビューを通して、研修先(道南・道央)の歴史・文化・産業・魅力等について調べ、ふるさと帯広との違いや、帯広の良さの再発見、帯広の未来について考えたことをまとめました。入念な準備と節度ある行動で、全員元気に旅行を終えました。仲間と協力しながら探究し、日頃の学びを修める(修学)旅行をみんなが主役となって作り上げていました。後日、報告会を実施し、下級生に学習のまとめを発表しました。

・**おびひろ市民学「SDGs」他**
～持続可能な社会のために～

■ **1年「手話教室」** <8/23>
「地域の大人にできること」をテーマに実施。様々なコミュニケーションがあり、お互いを尊重する大切さを学習しました。

■ **1年「SDGs学習」**
「持続可能な社会のためにできること」をテーマに、地域や社会の未来に対して責任ある行動とは何かを考える学習を行いました。

① JICAで「国際協力」の学習
② "はぐくむ"での講話や散策による「帯広の森づくり」の学習 <9/7>

③ 帯広市青年会議所から講師を招き、多くの企業がフードロスや環境問題などに対して、SDGsの取組を行っていることを学習 <9/22>

④ 帯広市都市環境部より講師を招き、SDGs学習のまとめとして「自分たちにできること」を交流 <10/11>

■ **2年「認知症ポスター養成講座」** <6/23>
「地域の大人にできること」をテーマに実施。地域包括支援センター職員が講師を務め、人を大切にすることや支え合うために、自分が出来ることは何かを考える学習を行いました。

■ **3年「帯広市の台所事情」** <7/7>
帯広市財政課職員を講師に招き、「帯広市のまちづくり」と「財政」についての学習を行いました。

■ **「キャリアパスポート」**
おびひろ市民学だけでなく、自分が残しておきたい記録(ボランティア、課外学習・体験など)をファイルにして、自分の成長を振り返るものになっています。

<成果> 生活学習実態調査(12月結果)より

○ 「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかった」と感じている生徒の割合は、91%と高い。生徒たちが協働的な学習を通して、多様な他者とよりよいものを作り出す楽しさや感動を共有してきた成果と考えています。

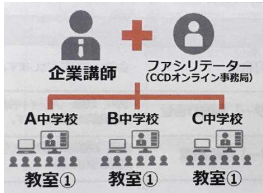
<成果> 生活学習実態調査(12月結果)より

○ 「ものごとを最後までやりとげて、うれしかった」と感じている生徒の割合は、93%と高い。探究的な学習を通して、生徒たちは主体的に取り組み、成果を共有し、振り返って改善してきた成果と考えています。

※今後も、さらに工夫しながら、取組を継続していきたい。

(2) 将来の自分の姿を考えるための取組

将来「自立し、幸せな人生を切り拓く」ための能力や心を培うために、生徒は多くの人と関わり、多くの経験を重ねながら、自分の生き方を考えていました。日々の授業や学級・生徒会活動に加え、部活動、ボランティア活動、防災



学習、進路学習、スポーツ大会、教育相談などを通して、生徒は将来の生き方の刺激を受けていました。取組の一部を紹介します。

① 進路学習

■ 1年「職業人に聞く」

・「未来創造授業」<10/12>
帯広青年会議所より様々な職種の方を講師に招き、働く意義や必要な資質能力、好きなことをどう将来に活かすかなどのお話をいただきました。

・「ICTインタビュー」<12/1>
企業講師と3つの中学校をオンラインで結び、インタビュー活動を通して、職業観や生き方を考える学習をしました。

■ 2年「起業という進路」<8/28>

釧路高専の協力により、2年生を対象に行いました。起業について、サラリーマンとの違いを交えながら、仕事の特色や必要な能力などについて、具体的に学習しました。

■ 2年「職場体験」<9/12~13>

近隣の34事業所に協力をいただき、2日間の職場体験を通して、働く意義や職業観について学びを深めました。どの事業所も温かく受け入れてくれ、生徒は感謝も含め、体感したことを後日の報告会で発表していました。

■ 3年「上級学校説明会」<7/3~6>

近隣の高校(7校)が来校し、説明会を行いました。各校の特色や進路、学校生活など、動画やスライド等で説明を受け、質問等により自らの進路選択に必要な情報を集めました。

■ 3年「上級学校体験」<11/13~14>

近隣の高校(3校)より講師を招き数学と英語の授業を行いました。中学校の学習がどのように高校につながっているか学びました。

② インターンシップ・教育実習の受入

将来、教職員を目指す高校生(卒業生を含む8名、7月・12月)、大学生(卒業生2名、9月)が来校しました。大学生は授業をはじめ教員の業務全般を体験し、高校生は授業見学や学習支援、最終日には中学生へのプレゼンを行いました。自分の経験談を交え、中学生の勉強法や生活の心得、進路の見通しなど、対象学年に応じた内容で自作カードなどを使いながら工夫してお話しました。中学生は、「年の近い先生」から進路や将来像について多くの刺激を受けていました。

(3) 道徳授業の充実



① 「考え、議論する道徳」<年間>

アンケートや面談等による生徒の実態を調査した後、「考え、議論する道徳」の授業を全教員で担当を決めて実践しています。

② 「思春期の生と性」を考える

思春期の悩みやお互いの理解、命の尊さや人権について考えを深めるため、「生」と「性」をテーマに特設授業を行いました。

■ 「多様な性の学習」<10/13>

■ 「いのちの学習」<12/12>

「思春期の心と体」「生命・人権の尊重」「いやな思いをなくすために」「SOSを出す勇気」「悩んでいる人へのサポート」などについて考えを深めました。

(4) 集団と自分の関わりを考えるための取組

○ 周りは自分を認めてくれる
80% → 81%

○ 学校に行くのが楽しい
75% → 78%
(R5.1月 → 12月)

○ 友人関係に満足している
91% → 93%

○ 普通の生活で、幸せな気持ちになることがある
85% → 86%
(R5.7月 → 12月)



① 各種アンケートの結果の活用

全国学力・学習状況調査(4月)、いじめ等調査(5月・8月・2月)、生活学習実態調査(7月・12月)や教育相談等を活用し、生徒の実態把握に努めるとともに、今後について考えさせる機会を設定してきました。

② Q-U調査 <6月、9月>

学級全体と生徒個人の適応感を調べ、SOSのサインや、集団の中の関係性について確認し、指導・支援の参考にしてきました。

③ 教育相談 <6月、10月、随時>

学習や生活、人間関係、部活や進路など、生徒が相談したいことを記載した教育相談シートを基に実施しました。人との関わり方や将来の姿など、いまの自分と向き合い、「これからすべきことは何か」、「将来どんな生き方をしたいか」考えを深める機会として実施してきました。

④ 全校集会・学年集会 <随時>

各種大会で表彰を受けた団体・個人による表彰伝達式(全校集会)を行い、挑戦や努力を讃え合う場、感謝を伝える場として実施していきました。また、学年協議会を中心に学年集会を行い、「より良い学校生活にするために」をテーマに呼びかけなども行ってきました。

⑤ 生徒会「いじめ防止」<年間>

「笑顔で楽しく過ごせる学校」づくりをテーマに、各種イベントや活動を企画し、交流を進めました。

<成果> 生活学習実態調査(12月結果)より

○ 「人の役に立つ人間になりたい」と考えている生徒の割合は、94%と高い。進路を考える学習や、他者との関わりを通して、自分の将来の生き方について考えを深めてきた成果と考えています。

5. エリア連携の取組

～主に緑園中・開西小・森の里小の取組～

(1) 合同授業による交流

① 合同体育（体カテスト）

■ 開西小児童が来校 <6/29>

本校3年生と開西小5・6年生で合同体カテストを実施しました。

3年生が動き方やコツをマンツーマンで教え、「すごいよ」「上手だよ」と声をかけると、小学生はそれに応えるように、熱心に取り組んでいました。5種類の測定が終了し、最後にコメント交換をすると、3年生からは「上手になったね」、小学生からは「優しく教えてくれた



てありがとう」などの言葉が書かれており、授業後は、別れを惜しんで泣いてしまう5年生もいました。

子どもたちの感想や振り返りをみると、3年生にとっては、一生懸命教えることで小学生の役に立ったと感じ、

自己有用感を高めているようでした。

また、小学生は教えてくれたことに感謝し、自分もあんな中学生になりたいと、**あこがれの気持ちを持って**くれたようです。小・中学生がつながり、ともに高め合う良い機会となりました。



■ 森の里小へ訪問 <7/12~14>

本校2・3年生と森の里小1・2・4年生で合同体カテストを行いました。

中学生が動き方やコツをマンツーマンで見本となって教え、20mシャトルランではペースメーカーとして一緒に走りました。

中学生と一緒にいるだけで、無邪気に喜ぶ低学年児童の姿に生徒の表情はゆるみ、まるで保護者のように気遣い、笑顔で接していました。お別れの時は小学生に「行かないでー！」と声をかけられ、手を振りながら淋しそうにしている生徒もいました。



丁寧な準備や片付け、素早い整理、元気のいい挨拶に、小学生はあこがれの眼差しでした。そして、先生方も感心していました。生徒たちは、普段の中学生としての学ぶ姿、そして普段とは違った保護者のような姿の両方を見せていました。

② 合同音楽（和楽器演奏） <12/4>

開西小4年生が来校し、本校1年生と合同で音楽の授業を行いました。本校の音楽教諭が授業を担当し、中学生がアドバイスターとして、小学生に「和楽器（琴）」の演奏を教えました。



3年後には、高1と中1の関係で、入れ違いになってしまいますが、同窓になる後輩と一緒に学ぶ時間を楽しんでいました。

(2) 学習会・体験学習による交流

① 夏休み体験学習

■ 「親子お花教室」 <8/3>

地域ボランティアが講師を務め、緑園中エリア（本校・森の



里小・開西小）の親子と教職員合わせて30名が参加し、思い思いに「夏の花」をアレンジしました。

■ 「親子理科実験教室」 <8/4>

緑園中エリアの親子と教職員合わせて35名が参加し、ふるさと十勝の歴史や食文化、生物の体のつくりと働きについて学習しました。



- ・第1部 十勝の畜産業（歴史・加工）
- ・第2部 目のつくり（解剖実験）
- ・第3部 目のはたらき（見え方実験）



<授業後の感想>

- ・家畜が食料に加工される過程を見て、自分がお肉などを食べる際は感謝して食べようと思いました。
- ・解剖は少し不安でしたが、貴重な体験ができて楽しかった。生物の体は本当に不思議だと感じました。
- ・見えている像は脳が補正していることがわかったので、ケガや疲れなどで正常に見えないときや、判断できなくなるときに、気をつけようと思いました。

② 冬休み体験学習

小中高連携を進めるため、12月25～27日の3日間、地域の方や大学生にもご協力いただき、「学習会」と「お楽しみ会」を実施しました。

■ 「小学生学習会」 <12/25~27>

開西小学校と森の里小学校の児童（3日間でのべ41名）が来校し、同じ教室で学習会を行いました。中学生ボランティア（3日間でのべ43名）が学習サポートや会場案内等を務め、よりよい学習会になるよう活動してくれました。 <写真：小学生に教える緑園生>



■ 「中学生学習会」 <12/25~27>

緑園中学校の生徒（3日間でのべ34名）が参加し、南商業高校の生徒と帯広畜産大学の学生（3日間でのべ9名）に学習サポートをしてもらいながら、持参した冬休みの宿題や2学期の復習を行いました。 <写真：高校生に教わる緑園生>



(3) 入学説明会・交流会

■「親子もちつき体験」〈12/25〉

学習会後のお楽しみ企画として、初日は「もちつき体験」を実施しました。緑園中エリアの親子90名が参加し、南商生・畜大生・地域ボランティア（合わせて50名以上）のサポートのもと、交代しながら餅をつきました。



できあがった餅は、きなこやあんこをつけて試食、子どもたちは「おいしい」と喜びをこぼしていました。そして、「楽しかった」と喜んで帰る子どもたちに目を細める大人たちの姿が印象的でした。ボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。

■「親子お花教室」〈12/26〉

地域ボランティアが講師を務め、緑園中エリアの親子41名が参加し、松や菊、カーネーション、水引などを組み合わせ、思い思いに「正月のお花」をアレンジしました。



■「親子理科実験教室」〈12/27〉

本校理科教員が講師を務め、南商生5名がボランティアとしてサポートしてくれました。38名が参加し、動画や解剖実験を通して、以下の内容を学習しました。（中学生は12月に実施した「いのちの学習」(性教育)のオプションとしての内容が含まれています）

- ①細胞（つくり、はたらき）
- ②遺伝（メンデルの法則、DNA、クローン、iPS細胞、育種、遺伝子組み換え、ゲノム編集）
- ③畜産業（血統の管理、人工授精による繁殖）※動画
- ④生殖（性周期のしくみ、生殖器のつくり）※解剖実験

※動画… 過去(25年前)に、緑園中生が農場（現校長の実家）を取材して作成したものです。美味しい牛乳を生産するため、ウシは人工授精により計画的に繁殖、飼育されていることを説明しています。遺伝の仕組みを活用して、生産性を高めている農業について取材した内容です。



※解剖実験… ウシの生殖器を用いました。卵巣内の卵胞や黄体を確認しながら、性周期について学習し、受精が行われる卵管、着床して胎児を育む子宮体内部、子宮頸、膣内部など、切開しながらその構造を確認しました。その後、児童生徒は、膀胱に「どれくらい水をためられるか」水道水を入れて実験しました。小玉スイカくらいに膨らんだ膀胱をおそるおそる触り、その弾力を確認していました。



■「新入生説明会」〈2/15〉

本校を会場に、森の里小・開西小6年生と保護者を対象に実施します。この日は、緑園中3年生が中心となってイベントを運営し、午前は両小学生の交流会（アクティビティ）、中学生の授業見学、校舎巡り、学校説明を行い、午後からは保護者向けの説明を行います。



■「キャリアアップ学習会」〈3/5〉

本校を会場に、森の里小・開西小5年生を対象に実施します。この日は、緑園中3年生が中心となってイベントを運営し、両小学生の交流会（アクティビティ）、中学生の生活や学習についての紹介を行います。



(4) いじめ非行防止にかかわる児童生徒の交流

■「いじめ非行防止サミット」〈6/27 市教委主催〉

本校・森の里小・開西小の3校をオンラインでつなぎ、「一人一人が笑顔で楽しく過ごせる学校」をテーマに話し合いました。



本校からは、生徒会会長の山田さん、副会長の奥田さんが参加し、各児童会役員と話し合った結果、「交流と安心を生み出す取組」を各校で進めていくことになりました。具体的には、「ピンクアイテムデー」や「ミッションビンゴ」などを実施して、みんなで楽しい学校をつくる意識を高めていこうということでした。早速、ミッションビンゴは7月11日から実施しました。

■「どさんこ☆子ども十勝地区会議」〈12/11 道教委主催〉

十勝の各市町村の小中学校より19名、公立高校18名、配信元の清水高校生徒会10名が参加し、各校をオンラインでつなぎ、「いじめ防止」について話し合いました。本校からは帯広市を代表して、前期生徒会長の山田さんが参加し、「クラスメイトが嫌な思い（いじめ）をしない、させないために、わたしたちが取り組むこと」について、本校や帯広市の取組を紹介するとともに、各校の様子を聞き、今後に向けての意見交流をしました。



<成果> 各イベントでの姿・感想より

- 感染症対策が緩和され、多くの交流を行うことができました。中学生の姿からは自己有用感の高まりが見られ、小学生の感想からは中学生へのあこがれや、入学を楽しみにしている声がかげられました。
- 多くのボランティアの協力のおかげで、各種イベントを充実させることができました。とてもありがたいと思っています。今後も工夫しながら、取組を進めていきたい。

※ 以上を参考にいただき、保護者アンケート（学校評価）への回答をお願いいたします。